

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和7年4月8日(2025.4.8)

【公開番号】特開2024-167191(P2024-167191A)
 【公開日】令和6年12月3日(2024.12.3)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-226
 【出願番号】特願2024-120997(P2024-120997)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1 9 / 1 2 (2 0 1 4 . 0 1)

H 0 4 N 1 9 / 1 3 6 (2 0 1 4 . 0 1)

H 0 4 N 1 9 / 1 7 6 (2 0 1 4 . 0 1)

10

【F I】

H 0 4 N 1 9 / 1 2

H 0 4 N 1 9 / 1 3 6

H 0 4 N 1 9 / 1 7 6

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月31日(2025.3.31)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ビデオデータを符号化するための方法であって、

ビデオデータのデータブロックに関連付けられた変換パーティションタイプを決定するステップと、

前記変換パーティションタイプが、前記データブロックを変換ブロックに分割するための分割パターンをそれぞれ指定する変換パーティションタイプの事前定義されたセットのサブセットに属し、前記変換パーティションタイプの事前定義されたセットの前記サブセット内の各変換パーティションタイプに関連付けられた変換パーティションの数が、事前定義された閾値以下であることに応答して、

30

前記データブロックから分割された変換ブロックに関連付けられた変換の変換タイプを決定するステップであって、前記変換タイプは、変換タイプの第1の事前定義されたセットに属する、決定するステップと、

前記変換タイプに従って前記変換ブロックに対して変換を実行するステップと、

前記変換パーティションタイプが、変換パーティションタイプの前記事前定義されたセットの前記サブセットに属さないことに応答して、

40

デフォルトの変換タイプに従って前記変換ブロックに対して変換を実行するステップと

を含む、方法。

【請求項2】

前記変換パーティションタイプの事前定義されたセットの前記サブセットに属さない前記変換パーティションタイプに応答して、

前記変換ブロックと関連付けられた前記変換タイプを事前定義されたデフォルト変換タイプであると決定するステップ、をさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記変換はプライマリ変換であり、前記変換タイプの第1の事前定義されたセットは、

50

離散コサイン変換 (DCT) タイプ 1 から DCT タイプ 8、
非対称離散サイン変換 (ADST)、
離散サイン変換 (DST) タイプ 1 から DST タイプ 8、
折れ線グラフ変換 (LGT)、及び
カルーネン・レーベ変換 (KLT) を含む、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記変換パーティションタイプの事前定義されたセットの前記サブセットは、変換ブロックパーティショニングなしのための PARTITION__NONE からなる、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】

前記事前定義された閾値が、1 以上 16 以下の整数を含む、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記変換はセカンダリ変換であり、前記変換タイプの第 1 の事前定義されたセットは KLT を含む、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

前記変換パーティションタイプの事前定義されたセットの前記サブセットは、変換ブロックパーティショニングなしのための PARTITION__NONE からなる、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

前記変換パーティションタイプの事前定義されたセットの前記サブセット内の各変換パーティションタイプに関連付けられた変換パーティションの数が、事前定義された閾値以下である、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記変換タイプは、前記変換ブロックに関連付けられたプライマリ変換のタイプが変換タイプの第 2 の事前定義されたセットに属することをさらに示す、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

前記変換パーティションタイプの事前定義されたセットの前記サブセットは、変換ブロックパーティショニングなしのための PARTITION__NONE からなり、前記変換タイプの第 2 の事前定義されたセットは、DCT 及び ADST からなる、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

ビデオデータを符号化するための方法であって、

ビデオデータのデータブロックに関連付けられた変換パーティションタイプを決定するステップと、

前記変換パーティションタイプが、変換パーティションタイプの事前定義されたセットのサブセットに属し、前記変換パーティションタイプの事前定義されたセットの前記サブセット内の各変換パーティションタイプに関連付けられた変換パーティションの数が、事前定義された閾値以下であることに応答して、前記データブロックの変換ブロックに関連付けられた変換タイプを決定するステップと、

前記変換パーティションタイプが、変換パーティションタイプの前記事前定義されたセットに属さないことに応答して、前記データブロックの前記変換タイプをデフォルトで識別するステップと

を含む、方法。

【請求項 12】

前記変換パーティションタイプの事前定義されたセットの前記サブセットは、変換ブロックパーティショニングなしのための PARTITION__NONE からなる、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記変換タイプは、プライマリ変換タイプ又はセカンダリ変換タイプを含む、請求項 1

10

20

30

40

50

1 または 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 4】

請求項 1 から 1 3 のいずれか一項に記載の方法を実施するように構成された回路を備える装置。

【請求項 1 5】

1 つ又は複数のプロセッサに、請求項 1 から 1 3 のいずれか一項に記載の方法を実施させる、コンピュータプログラム。

10

20

30

40

50